

第12回 金沢自転車ネットワーク協議会 議事概要

日時：平成27年11月27日（金）13時30分～15時00分

場所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

- (1) これまでの取組経緯
- (2) 平成27年度の取組状況
- (3) 広域的な自転車ネットワーク候補路線の選定について
- (4) 金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）の見直しについて
- (5) 事例報告

4. 閉 会

議 事 要 旨

■ これまでの取組経緯、平成27年度の取組状況

◎特に意見なし

■ 広域的な自転車ネットワーク候補路線の選定について

◎自転車ネットワーク候補路線については、すべてをすぐに整備できるわけではなく、道路管理者も異なることから、今回抽出された候補路線を基に短期、中期、長期という段階的な視点でネットワーク候補路線を検討していただきたい。

■ 金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）の見直しについて

◎「①路面表示仕様の標準化」については、金沢にとっては大きな問題であり、国がどこまで指導することになるかわからないが、金沢オリジナルの方法でいきたい。

◎見直し方針について了承。

委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	金沢大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 孔子学院 学院長 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通部 交通企画課長 川村 孝治	代理出席 (田村 課長補佐)
	石川県警察本部 交通部 交通規制課長 南 与市	出席
	金沢中警察署 交通官 野田 孝	出席
	金沢東警察署 地域交通官 三瀬 繁	出席
	金沢西警察署 地域交通官 宮永 裕嗣	代理出席 (交通第一課 小竹課長)
行政 関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 高島 勝志	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 畠山 邦夫	代理出席 (玉田 課長補佐)
	石川県 土木部 都市計画課長 森 裕人	代理出席 (山 課長補佐)
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 吉本 一也	代理出席 (島田 係長)
	金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課長 多田 正人	代理出席 (吉田 課長補佐)
	金沢市 土木局 道路管理課長 木村 裕一	出席

オ ブ ザ ー バー	白山市 建設部 土木課 計画係長 山岸 正勝	参加
	野々市市 総務部 環境安全課 課参事 山田 伸吾 産業建設部 建設課 道路管理係長 西村 裕之	参加
	内灘町 町民福祉部 環境安全課 主事 組村 和也	不参加

※敬称略

議 事 概 要

○各委員、●事務局

■開会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 北出課長）

定刻となりましたので、ただいまより、第12回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

私は、事務局を担当しております、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課の北出でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、高山会長より、ご挨拶をお願い致します。

■会長挨拶

○金沢大学教授 高山会長

先日、学会で秋田へ行ったが、金沢でも少ない自転車専用信号が多く設置されていたことが印象的でした。しかし、残念ながら自転車はほとんどみられず、自転車通行空間整備については金沢のほうが進んでいるようでした。

今回は、「これまでの取組経緯と今年度の取組状況」「広域的な自転車ネットワーク候補路線の選定」、また、国の方でもガイドラインの見直しが進んでいる「金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）の見直し」についてご意見をいただきたいと思います。

■これまでの取組経緯と平成27年度の取組状況

○石川県警察本部 交通規制課長 南委員

先日、茨城県警から2名の方が金沢に視察に来られたので、その報告をさせていただきます。視察された方々にお話をうかがったところ、金沢での視察について3点の感想を持ったとのことでした。

1点目は、金沢では交通状況に応じて交通規制や自転車通行環境整備が行われているということです。例えば、歩道が広い金沢駅西の50m道路では、普通自転車歩道通行可の規制をかけた上で、歩道上の自転車通行位置指定をしている一方で、道路幅員が狭い県道窪野々市線では車道上に自転車走行指導帯を整備しており、実際の自転車交通量や道路事情に応じた使い分けをしているところが良いとのことでした。

2点目は、高校生ボランティアの街頭活動に感心したとのことでした。スタッフジャンパーを着てパネルをもって高校生を指導している姿をみて、自主的に取り組んでいることが素晴らしいとのことでした。

3点目は、警察や道路管理者等の関係者がしっかり連携している点に感心したとのことでした。金沢自転車ネットワーク協議会の連携の強さに関心を持たれたようでした。

○地球の友・金沢 三国成子委員

・別紙2の論文について紹介（「地区内街路における自転車走行指導帯の事故低減効果の分析」第52土木計画学研究発表会論文）

■金沢市内の自転車通行空間整備ネットワークの構築に向けて

○金沢大学教授 高山会長

ご説明のとおり、各条件をすべて重ね合わせるとP7のようになります。しかし、これらすべてをすぐに整備できるわけではなく、道路管理者も異なることから、今回抽出された候補路線を基に短期、中期、長期という段階的な視点でネットワーク候補路線を検討していただければと思います。

■金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）の見直しについて

○石川県 土木部 都市計画課 課長補佐 山委員（代理出席）

「①路面表示仕様の標準化」については良く分かったが、「②自転車通行空間の形態選定方法」、「③自転車道の一方通行化」について国のガイドラインで見直しが検討されている背景について教えていただければと思います。

○地球の友・金沢 三国成子氏

「②自転車通行空間の形態選定方法」については、現行のガイドラインでは、自歩道の活用などの当面の整備形態を許容していたために、自転車通行空間整備がなかなか進まなかったということがあります。このため、明確に完成形態を示すことで、完成形態での自転車通行空間整備を促進していくことを意図しています。

また、「③自転車道の一方通行化」については、車道左側通行の徹底を図り、車道右側通行（逆走）による事故を抑制するためにも、自転車道の一方通行化を基本とすることが検討されています。

○金沢大学教授 高山会長

「①路面表示仕様の標準化」については、金沢にとっては大きな問題であり、国がどこまで指導することになるかわからないが、金沢オリジナルの方法でいきたいと考えています。「②自転車通行空間の形態選定方法」については、三国成子委員のご指摘のとおり、完成形態を考えておくことは重要だと思います。また、「③自転車道の一方通行化」についても、事故防止のために必要だと思われます。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

今回いただいたご意見を踏まえて、金沢版ガイドラインの見直し案を次回ご提示したいと考えています。高山会長からもお話いただいたとおり、「①路面表示仕様の標準化」につ

いては、地域のオリジナリティを許容してもらえような記載を加えていただくよう要望していきたいと考えています。

■事例報告（三国千秋委員より）

○北陸大学 孔子学院 三国学院長

・フランスや韓国の事例報告

■その他

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 北出課長）

ご案内となりますが、別紙1に来年1月に京都市で開催されます「自転車利用環境向上会議」に関する資料を付けさせていただきます。会議の詳細については、先日より京都市のホームページでも公開されていますので、よろしければご参加いただければと思います。

○地球の友・金沢 三国成子氏

この自転車利用環境向上会議は金沢から始まり、宮崎、宇都宮と続き、今後も京都、静岡と続いていく予定になっています。

今年の10月に松山河川国道事務所に伺ったが、松山でも金沢自転車ネットワーク協議会のような取組を行いたいとの考えがあり、松山河川国道事務所が音頭を取り、愛媛県や松山市、愛媛県警等が集まった会議を開催したとのこと。愛媛県は「愛媛県まるごと自転車道」という取組を行っていることから、土木部道路都市局、企画振興部政策企画局、県民環境部防災局等の担当者が横断的に参加しているとのことでした。愛媛県には、しまなみ海道があり、世界中から自転車を持って集まっているようです。しまなみ海道の上島町というところでは、自転車で島おこしをしようと非常に盛り上がっているようです。

石川県には能登半島があり、世界からも注目されていますが、自転車が街中だけでなく、郊外でも多く使われるようになっているようです。

来年1月に開催される京都での自転車利用環境向上会議では、多くの行政担当者等も参加されると思いますので、是非参加申し込みをいただければと思います。

○石川県 土木部 道路整備課 課長補佐 玉田委員（代理出席）

石川県でも観光面での自転車の活用について勉強していきたくと考えています。観光部局等の意見もいただきながらという形になっていくと思いますが、今後検討していきたくと思います。

○金沢大学教授 高山会長

今回事務局より説明いただいた自転車ネットワーク候補路線の選定方法については、特

に意見がなかったため、事務局提案の内容で進めていただければと思います。また、金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）の見直しについても、事務局提案の内容で進めていただければと思います。

このような協議会の中で自転車について協議し、自転車通行空間の整備を行い、さらに自転車関連事故が減少するような成果が出ていることは、社会的にも素晴らしいことだと思います。

■閉会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 北出課長）

以上をもちまして、第12回金沢自転車ネットワーク協議会を終了致します。ありがとうございました。

以上